

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・1	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	農業の生産振興			○	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合			水稲や園芸作物など地域の特性を活かした農産物の生産拡大、産地化、生産性の向上を進めることで、農業者の所得向上と経営安定が図られるような農業振興、いわゆる「儲ける農業」を推進します。		
④ 現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取り組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっています。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりをみせており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。					
⑤ 施策の内容						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)	
園芸特産作物出荷額(JA出荷額)	千円	195,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	0.51	500,000	0.31
			148,416	152,424	152,811	153,608		0.51		
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値						#DIV/0!	R6年度	#DIV/0!
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	71,229	149,701	72,058	63,524	75,255	74,242

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業名	25	事業	平均点
●成果	A	9事業 (36.0%)	1.0
	B	7事業 (28.0%)	
	C	9事業 (36.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	10事業 (40.0%)	1.2
	B	10事業 (40.0%)	
	C	5事業 (20.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	10事業 (40.0%)	1.2
	B	9事業 (36.0%)	
	C	6事業 (24.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出 1.1

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 地域農業の核となる担い手への農地集積・集約化を推進するとともに、丸森町農業振興ビジョンに掲げる振興作物の作付面積の拡大及び販路拡大につながるよう、機械化・施設化や最新技術の導入に対する支援策を継続していく。また、丸森町復旧・復興計画において示した、魅力あふれる農業の再興のため、災害復旧後の農地管理の在り方も含めた地域での話し合いを継続して進めていく。中山間地域においては有害鳥獣による被害が発生していることから、耕作意欲の低下を招かないよう鳥獣被害対策への支援を行うとともに、有害鳥獣減容化処理施設の利活用を推進し、駆除隊員の負担軽減を図っていく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・2	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	安全・安心な農産物の提供			-	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロコローや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっていきます。</p> <p>◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>◆ 森林は、本町の行政区区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>			施策の内容	豊かな自然環境を守るとともに、農産物の付加価値を高め安定した価格での販売を促すため、環境保全型農業や生産者の顔が見える農業を推進し、安全・安心な農産物の提供を進めます。	

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
農産物認証制度取組面積	ha	10.60	12.0	13.5	15.0	13.5	13.5	0.79	15	0.71
農産物直売所の売上高	千円	166,821	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0.90	200,000	0.90
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	4,906	5,628	5,090	5,399	6,284	6,830

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業	2	事業	平均点
●成果	A	事業	(0.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	2事業	(100.0%)
未実施	事業	(0.0%)	0.0
●コスト	A	2事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	2.0
●進捗率	A	事業	(0.0%)
	B	2事業	(100.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	1.0
未実施	事業	(0.0%)	平均点

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出 1.0

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 丸森産農産物認証制度事業については、農家の高齢化や制度の周知不足により取組者や取組面積が減少していることから、取り組みやすくするため制度の見直しを行うなど、引き続き環境保全型農業を推進し、安全・安心な農産物の提供に努めていく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・3	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	農業生産基盤の整備推進			-	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっています。</p> <p>◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めるとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>					
⑤ 施策の内容	<p>農業生産性の向上と効率的・安定的な農業経営を図るため、農地、農道及び用排水路等の農業生産基盤の整備を推進します。</p> <p>あわせて、農業経営の規模拡大と効率化を図るため、農地中間管理機構推進事業等を活用して担い手への農地の集積・集約化を推進します。</p>					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
担い手への農地集積率	%	17.20	40.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.70	70.0	0.50
			27.6	28.7	34.8	34.8		0.70		
							#DIV/0!	6	0.00	
							#DIV/0!			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
							#DIV/0!		#DIV/0!	
							#DIV/0!			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	10,764	21,599	43,970	34,725	138,949	138,489

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	△	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業	8	事業	平均点
●成果	A	1事業 (12.5%)	0.8
	B	4事業 (50.0%)	
	C	3事業 (37.5%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●コスト	A	3事業 (37.5%)	1.0
	B	2事業 (25.0%)	
	C	3事業 (37.5%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●進捗率	A	1事業 (12.5%)	0.6
	B	3事業 (37.5%)	
	C	4事業 (50.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			0.8

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	<p>【説明欄】</p> <p>地域にあった集積・集約を進め、担い手への農地集積率の向上を目指すとともに、丸森町復旧・復興計画 重点プロジェクトにおいて甚大な被害を受けた竹谷、新町・羽入地区をモデル地区に選定し、被災した農地の復旧と基盤整備に向けた取組みを進める。</p>
委員会評価	現状維持	<p>【委員会意見欄】</p> <p>担当課評価のとおり。</p>

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・4	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	豊かな農村資源の保全と活用			-	-	-
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合			平田地から中山間地まで、地域の特性に応じた農業の振興と地域ぐるみでの農村資源の保全と活用を推進し、豊かな自然と美しい農村環境を後世に引き継ぎます。		
④ 現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロقوقリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平田地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取り組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向にあります。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
多面的機能支払交付金交付対象農用地面積	ha	278	1,233	1,233	1,233	1,233	1,233	1.11	1,233	1.11
			1,313	1,365	1,369	1,372		1.11		
中山間地域等直接支払交付金交付対象農用地面積	ha	489	498	498	498	498	498	1.11	498	1.11
			558	547	550	551		1.11		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
							#DIV/0!		#DIV/0!	
							#DIV/0!		#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	130,998	132,321	135,394	138,205	142,302	139,661

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業数	2	事業	
●成果	A	2事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			2.0
●コスト	A	2事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			2.0
●進捗率	A	2事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			2.0
			平均点
			2.0

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 高齢化や担い手不足により組織の維持や活動の継続が難しくなる恐れがあることから、組織の広域化や合併といった長期的に活動を維持できる体制を推進する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・5								
② 施策名	新たな活力を生む農業担い手の育成	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎	○	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合			認定農業者の規模拡大や経営安定の支援、新規就農者の育成確保、集落営農の組織化・法人化を進め、将来的に安定した地域農業の担い手を確保します。					
④ 現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっています。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。								
⑥ 目標指標									

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
認定農業者数(所得額400万円以上)	経営体	19	25	30	30	30	30	0.27	30	0.27
			14	8	8	8		0.27		
認定新規就農者数【合計】	人	0	5	5	6	6	6	0.33	6	0.33
			3	4	6	2		0.33		
集落営農法人数	経営体	0	5	5	7	8	9	0.63	10	0.50
			4	4	4	5		0.56		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
認定農業者数(所得額400万円以上)	経営体	19	25	30	30	30	30	0.27	30	0.27
			14	8	8	8		0.27		
集落営農法人数	経営体	0	5	5	7	8	9	0.63	10	0.50
			4	4	4	5		0.56		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	36,527	28,056	42,010	25,279	63,155	83,269

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	14	事業	平均点
●成果	A	6事業 (42.9%)	1.0
	B	2事業 (14.3%)	
	C	6事業 (42.9%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	4事業 (28.6%)	1.0
	B	6事業 (42.9%)	
	C	4事業 (28.6%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	4事業 (28.6%)	0.9
	B	4事業 (28.6%)	
	C	6事業 (42.9%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.0			

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 農業従事者の高齢化や担い手不足により耕作放棄地がこれ以上拡大しないよう、認定農業者の規模拡大や経営安定の支援を行うとともに、町の魅力や農業等に関する情報を発信し、新規就農者の確保に努めていく。また、集落営農の組織の育成や立ち上げの支援を進め、次世代の担い手を育成していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・6	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	畜産の振興			-	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合			畜産農家の生産基盤の強化と生産性の向上により、さらなる産地育成を進めるとともに、耕畜連携により良質で安定的な自給飼料の確保と資源循環型農業を推進し、畜産の振興を図ります。		
④ 現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロコローヤや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組を行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向にあります。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
飼養頭数(乳用牛)※搾乳牛	頭	1,272	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,400	0.68
			1,124	1,104	1,102	952			
飼養頭数(肉用牛)※繁殖素牛	頭	355	370	370	370	370	370	400	0.77
			327	332	375	306			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	10,805	11,712	15,346	12,142	15,742	14,742

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業	6	事業	平均点
●成果	A	1事業 (16.7%)	1.2
	B	5事業 (83.3%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●コスト	A	6事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●進捗率	A	1事業 (16.7%)	1.2
	B	5事業 (83.3%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.4

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 畜産農家の負担軽減と生産拡大を図るためにも、町営放牧場と子牛育成センターの安定した運営を行い、畜産農家の経営安定を目指す。また、自給飼料の生産拡大によるコスト削減を図り、健全な農家経営のために必要な事業を継続していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・7	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	森林資源の活用と多面的機能の充実			-	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合			施策の内容	適正な森林施策の推進と森林病虫害の防除に取組み、優良材の生産による木材利用の促進と水源の涵養などの多面的機能の維持発揮に努めます。あわせて、交流・教育・健康に着目した新たな森林活用に向けた検討を進めます。	
④ 現状と課題	<p>◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロقوقリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向にあります。</p> <p>◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めいくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
森林整備面積(造林、下刈、除伐、間伐)	ha	150.9	147.0	147.0	147.0	147.0	147.0	0.76	166.0	0.67
			82.0	122.0	71.0	111.0		0.76		
森林病虫害防除本数(松くい虫、ナラ枯れ)	本	5,381	1,720.0	310.0	1,010.0	1,020.0	1,500.0	1.67	3,950	0.43
			3,491.0	632.0	1,087.0	1,702.0		1.13		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	70,482	57,172	59,496	85,787	97,070	89,938

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業	10	事業	平均点
●成果	A	8事業 (80.0%)	1.6
	B	事業 (0.0%)	
	C	2事業 (20.0%)	
未実施	事業 (0.0%)		
●コスト	A	9事業 (90.0%)	1.8
	B	事業 (0.0%)	
	C	1事業 (10.0%)	
未実施	事業 (0.0%)		
●進捗率	A	7事業 (70.0%)	1.6
	B	2事業 (20.0%)	
	C	1事業 (10.0%)	
未実施	事業 (0.0%)	平均点	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.7

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 適正な森林施策を推進し、木材の生産や水源の涵養などの多面的機能の維持発揮に努める。あわせて、令和5年3月に策定した丸森町林業振興ビジョンに基づき、活力ある林業の再生に向けた取組を推進する。また、令和3年度より実施している森林経営管理事業についても計画的に実施し、経営管理の行われていない森林の適切な管理に努めていく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・8	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	内水面漁業の振興			-	-	-
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合			北部を雄大に流れる阿武隈川、中山間部から流れる内川・雉子尾川等の清流がありなす優れた自然の景観とサケ・アユ等の増殖・放流による豊かな水産資源を維持し、活力ある内水面漁業の振興を図ります。		
④ 現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロックリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取り組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向にあります。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。					
⑤ 施策の内容						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
サケの採卵数	粒	80万	100	100	100	100	100	0.41	100	0.41
		単位:万	0	2	0	41				
サケ・アユの稚魚放流数	尾	15万	20	20	20	20	20	0.95	20	0.95
		単位:万	45	8	14	19				
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
							#DIV/0!		#DIV/0!	
							#DIV/0!		#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	300	300	300	300	300	300

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業	1	事業	平均点
●成果	A	事業	(0.0%)
	B	1事業	(100.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			1.0
●コスト	A	1事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			2.0
●進捗率	A	事業	(0.0%)
	B	1事業	(100.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			1.0
			平均点
			1.3

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 令和元年東日本台風被害により河川の復旧工事が続いており、計画どおりの放流事業等が実施できていない状況にあるが、災害復旧後の漁業振興を見据え、阿武隈川漁協と連携を図り、水産資源の保全と河川の環境維持に向けた取組を行う。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・1・9	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	6次産業化の推進			-	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向にあります。</p> <p>◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>			施策の内容	本町の地形を生かして生産される様々な農林産物等を原料とし、生産者自らが加工・販売まで行う6次産業化を推進し、多角的な農業経営により所得向上を図ります。	

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
6次産業事業主数	名	24	30	30	32	33	34	1.42	35	1.34
			42	46	47	47		1.38		
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
6次産業事業主数	名	24	30	30	32	33	34	1.42	35	1.34
			42	46	47	47		1.38		
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	1,524	2,179	1,471	1,712	2,867	2,867

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	平均点
●成果	A	3事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	3事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	3事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出 2.0

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 丸森町農業振興ビジョン個別施策6次産業化の推進に基づき、①原材料の安定供給を行うための農産物等の生産拡大②各種研修会等の開催を通じ取組者の拡大や商品開発力の強化③農産物等の保存や安定的な加工が可能となるよう加工施設整備の推進等事業を展開し農業所得向上を目指していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・2・1								
② 施策名	地域に活力をもたらす企業誘致の推進	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎	○	-	○
③ 目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合								
④ 現状と課題	<p>◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。</p> <p>◆ 町中心部の商店街では、町内の若手事業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。</p> <p>◆ 日常の買い物利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。</p> <p>◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。</p> <p>◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。</p>			施策の内容	新たな進出企業のニーズに対応できる工場団地の造成など、受け入れ体制を充実させるとともに、異業種間や地域との交流機会を創出して企業の活性化を図ります。				

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
新工場操業数(27年度からの累計)	工場	2	5	5	6	6	6	0.83	10	0.50
			3	4	4	5		0.83		
製造品出荷額	億円	465	470	470	470	470	470	0.60	475	0.60
			299	241	284	284		0.60		
従業者数(従業者4人以上の事業所を対象)	人	1,308	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	0.79	1,500	0.79
			1,221	1,199	1,178	1,178		0.79		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
新工場操業数(27年度からの累計)	工場	2	5	5	6	6	6	0.83	10	0.50
			4	5	5	5		0.83		
製造品出荷額	億円	465	470	470	470	470	470	0.60	475	0.60
			299	241	284	284		0.60		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	1,615	11,083	3,574	91,006	97,528	12,228

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業数	4	事業	平均点
●成果	A	1事業 (25.0%)	1.3
	B	3事業 (75.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●コスト	A	1事業 (25.0%)	1.3
	B	3事業 (75.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●進捗率	A	1事業 (25.0%)	1.3
	B	3事業 (75.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.3

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 工場団地の造成工事に着手しており、完成後、速やかに企業が立地できるよう積極的な誘致活動に取り組んで行く。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。
⑫ 予算編成に関する考え方(評価担当課)	現状維持	【説明欄】 早期の企業立地に向け、工場団地造成費用以外については、引き続き、現状と同様な予算額の確保に努める。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・2・2								
② 施策名	地域の賑わいを創出する商業の活性化	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎	○	-	○
③ 目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合								
④ 現状と課題	<p>◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。</p> <p>◆ 町中心部の商店街では、町内の若手事業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。</p> <p>◆ 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。</p> <p>◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。</p> <p>◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。</p>		<p>施策の内容</p> <p>町内の空き店舗の活用や商店街での買い物等の利便性を向上させ、良好で持続的な商業地域の振興を図ります。また、地域の特性を活かした魅力的な商業環境の整備に努めます。</p>						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	90,000	90,000	100,000	110,000	115,000	1.00	120,000	0.92
			114,690	114,750	107,340	110,286		0.96		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	90,000	90,000	100,000	110,000	115,000	1.00	120,000	0.92
			114,690	114,750	107,340	110,286		0.96		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	2,293	1,072	5,542	6,492	6,287	4,787

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>
⑩ 今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業別	3	事業	達成率	平均点
●成果 A	3事業	(100.0%)		2.0
B	事業	(0.0%)		
C	事業	(0.0%)		
未実施	事業	(0.0%)		
●コスト A	1事業	(33.3%)		1.3
B	2事業	(66.7%)		
C	事業	(0.0%)		
未実施	事業	(0.0%)		
●進捗率 A	2事業	(66.7%)		1.7
B	1事業	(33.3%)		
C	事業	(0.0%)		
未実施	事業	(0.0%)		1.7

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	<p>【説明欄】</p> <p>各事業で着実に成果が表れているので、現状を維持し各事業を継続して支援していく。</p>
委員会評価	現状維持	<p>【委員会意見欄】</p> <p>担当課評価のとおり。</p>

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・2・3	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	地域企業を支える支援体制の充実			○	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合			町内の中小企業等の経営に必要な資金の融資を円滑にする とともに、併せて商工会への支援体制を強化し、町内商工 業の活性化を図ります。また、中小企業向けに次世代の人材 を育成するための支援を充実します。		
④ 現状と課題	◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多 様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により 店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 ◆ 町中心部の商店街では、町内の若手事業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街 活性化の動きが見られます。 ◆ 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一元となって中心市街地の 活性化を行う必要があります。 ◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多 くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の 育成など支援を行う必要があります。 ◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、「東北放射光施設」 ※の誘致を推進するとともに、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
町内商工業者数	事業所	508	513	514	514	514	514	0.88	523	0.86
			464	450	450	450	450	0.88		
町商工会会員数	人	351	356	356	356	356	356	0.91	361	0.90
			314	318	316	324	324	0.91		
起業支援者数	人		25	30	30	30	30	0.97	30	0.97
			54	56	39	29	29	0.97		
起業者数	人		5	6	6	6	6	0.67	6	0.67
			6	4	0	4	4	0.67		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
町内商工業者数	事業所	508	513	514	514	514	514	1	523	0.86
			464	450	450	450	450	1		
町商工会会員数	人	351	356	356	356	356	356	1	361	0.90
			314	318	316	324	324	1		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	114,560	277,795	278,705	137,463	123,535	126,287

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業別	事業	評価	平均点
●成果	A 6事業	(75.0%)	1.5
	B 事業	(0.0%)	
	C 2事業	(25.0%)	
	未実施 事業	(0.0%)	
●コスト	A 事業	(0.0%)	1.0
	B 8事業	(100.0%)	
	C 事業	(0.0%)	
	未実施 事業	(0.0%)	
●進捗率	A 6事業	(75.0%)	1.5
	B 事業	(0.0%)	
	C 2事業	(25.0%)	
	未実施 事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.3

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持 【説明欄】 各事業で着実に成果が表れているので、現状を維持し各事業を継続して支援していく。
	委員会評価	現状維持 【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	6・2・4								
② 施策名	働きやすい労働環境の形成	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎	-	-	○
③ 目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合								
④ 現状と課題	<p>◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。</p> <p>◆ 町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。</p> <p>◆ 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。</p> <p>◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。</p> <p>◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、「東北放射光施設」※の誘致を推進するとともに、地域の特性にあった企業誘致を</p>		施策の内容	ハローワークをはじめとした関係機関との連携により、雇用情報の提供や企業に対する雇用促進を働きかけるとともに、資金融資の円滑化により労働者の生活安定を図ります。					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
商工会会員事業所永年勤続優良従業員	名	6	5	5	5	5	5	1.00	8	0.63
			4	5	6	5		1.00		
町の人口に占める生産年齢人口の割合	%	53.00	55	55	55	55	55	0.87	55	0.87
			50	49	48	48		0.87		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	2,403	16,470	60,575	95,103	4,905	4,905

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業別	3	事業	平均点
●成果	A	3事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
		未実施 事業 (0.0%)	
●コスト	A	事業 (0.0%)	1.0
	B	3事業 (100.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
		未実施 事業 (0.0%)	
●進捗率	A	3事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
		未実施 事業 (0.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.7			

⑪	次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 各事業で着実に成果が表れているので、現状を維持し各事業を継続して支援していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。